

先生各位

報告書記載内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、このたび下記項目の報告書記載内容を変更させていただきたくご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

- 《 変更日 》 平成 17 年 6 月 20 日 (月) 受付分より
- 《 対象項目 》 **先天性疾患染色体 一般染色体検査 G-分染法** [検査コード: 1851]
(総合検査案内 2005 年版 p.123)
- 先天性疾患染色体 Q-分染法** [検査コード: 1857]
(総合検査案内 2005 年版 p.123)
- 《 該当疾患名 》 「ダウン症候群」「ターナー症候群」「クラインフェルター症候群」
- 《 変更内容 》 上記 3 疾患が疑われる結果 (核型) が得られた場合、今後、異常所見 (結果の説明) のみの記載に変更いたします。
- (所見記載例)

核型 (例)	変更後	変更前
47, XY, +21	21 番染色体を 1 本過剰に認めます。	21 番染色体を 1 本過剰に認めます。 標準トリソミー型ダウン症候群の核型です。
45, X	X 染色体の欠失 (1 本) を認めます。	X 染色体の欠失 (1 本) を認めます。 ターナー症候群の核型です。
47, XXY	X 染色体を 1 本過剰に認めます。	X 染色体を 1 本過剰に認めます。 クラインフェルター症候群の核型です。

- 《 変更理由 》 検査結果からの病名の記載は、診断に関わるコンプライアンス上の問題から好ましくないと判断し、異常所見のみの記載に変更いたします。